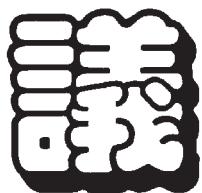


びふか



びす
こんじちは

2014 / 7

第90号



道往く人にやすらぎを（国道40号線）
—第2自治会のみなさん—

主な内容

第2回定例会

米麦乾燥施設は縮小整備へ
びふか温泉源泉ポンプ復旧にめど

2P~3P

一般質問

ここが聞きたい
3議員が登壇

5P~7P

委員会レポート・函岳のめ

8P~9P

米麦乾燥施設は縮小整備へ

びふか温泉、源泉用ポンプ復旧にめど

第2回定例会が、6月11日から13日まで開催され、町側から国の税制改正に伴う町税条例改正2件、補正予算2件、人事案件2件など11件、議会側から推薦1件、請願1件、意見書案1件など6件が提出され審議が行われた。

補正予算

補正予算は、補助金などを財源として実施する事業の見直しや新規事業の追加、さらには施設の維持・補修費の追加が主なものであり、6月上旬の集中豪雨による災害復旧費も盛り込まれた。

主な内容は下記のとおりであり、一般会計の補正額は歳入歳出それぞれ2億75万8千円を減額し、予算総額は47億4311万6千円となる。

主な補正内容

| | |
|----------------------|-----------|
| 強い農業づくり事業補助金 | ▲3億6115万円 |
| 米麦乾燥調整施設整備事業補助金 | 1億 190万円 |
| 商店街活性化事業補助金、プレミアム商品券 | 1200万円 |
| びふか温泉空調設備工事請負費 | 750万円 |
| 町有住宅改修工事請負費 | 850万円 |
| 公共土木施設災害復旧費 | 900万円 |
| 雇用創出事業委託料 | 636万円 |
| びふか温泉源泉用ポンプ取替工事請負費 | 550万円 |
| びふか温泉職員住宅補修工事請負費 | 450万円 |
| ほっとプラザ☆スマイル ガラス交換工事 | 100万円 |

米麦乾燥施設が縮小となつた経緯は。

質問 当初予定した予算を減額し、新たな補助事業とした経緯は。また、変更後、充分な設備の能力が確保できるのか。

農業G主幹 費用対効果の面で認可が得られなかつた。収穫時期の運転に支障が出ないよう機能を限定して整備することとした。

質問 農業申請の過程において準備不足はない。運転に必要な能力は確保できた。

質問 びふか温泉井戸調査の結果は



かったのか。

農業G主幹 JA、上川総合振興局の担当とも万全の準備をしてきたが、費用対効果の面で効果が認められず対象にならなかつた。

質問 ガラス修繕で100万円の補正が出ているが、破損の原因と対策は。

「ほっとプラザ」ガラス保護の対策は

質問 ガラス修繕で100万円の補正が出ているが、破損の原因と対策は。

保健福祉G主幹 ホル東側（国道側）のペアガラスの内側に何かぶつかって破損したと推測されるが、具体的な原因は不明。強化ガラスに変更し、飛散防止のシートを貼ることも考えている。利用状況に応じて衝立の利用もしていく。

第2回定例会

行政報告



平成25年度の各会計
決算状況は一般会計において、5億896万9千円の黒字決算であった。
今春の農作業状況は、融雪期は平年より5日遅れだったが、5月に入り、中旬まで比較的
気温が高く推移したため平年より3～7日程度早く進んでいる。

(株)アイサイエンスほか一社の企業誘致について、企業内部において、企業誘致につ

結果、原因はポンプ故障と判明したようだが耐用年数が過ぎていたのか。
企画G主幹 ポンプの耐用年数は10年以上。
故障は、源泉の湯の花詰まりが原因であり、今後は清掃点検も加えて長寿命化につなげていきたい。

〔質問者〕 小口・藤守
・諸岡・藤原・齊藤
岩崎議員

原案可決〔全員賛成〕

美深町学校給食センター建設工事を橋本川島・山崎特定建設共同

〔質問者〕 岩崎・藤守
議員

て事業継続が困難になる事態が発生し、平成26年4月7日付をもって自己破産の手続きに入り、当該企業の誘致は終結せざるを得なくなつた旨の報告があった。

いて掲載する。

美深町学校給食センター建設工事を橋本川島・山崎特定建設共同

工事請負契約の締結

〔質問者〕 藤守議員

教育次長 給食センターラー連の施設と捉えている。
〔質問者〕 藤守議員

原案可決〔全員賛成〕

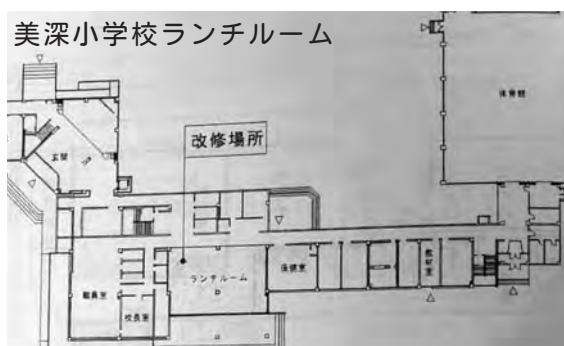
〔質問者〕 岩崎・藤守
議員

質問 誘致企業が当町に対しどのように対応をしたのか。
町長 企業としては当町に工場建設をしたいと努力を続けてきたが叶わず、現在は管財人

原案可決〔全員賛成〕

本改革を着実に実施するため、地方税法などの一部を改正する法律の施行に伴い、町税条例の一部が改正された。

町税条例の一部改正



〔質問者〕 岩崎・藤守
議員

一市二組合が脱退し、鷹栖町、上川町、道央廃棄物処理組合が加入するため、本組合規約の一部を改正。

北海道市町村総合事務組合規約の変更について

原案可決〔全員賛成〕

北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部を改正。

原案可決〔全員賛成〕

二組合が脱退し、道央廃棄物処理組合が加入するため、本組合規約の一部を改正。

請願を採択

国へ意見書提出
全員一致で決定

ウイルス性肝炎患者
に対する医療費助成
の拡充を求める請願

請願者 全国B型肝炎
訴訟北海道原告団

紹介議員 齊藤 和信

本件は第2回定例会
で総務住民常任委員会
に付託され、審査終了
の報告があり、結果全
員一致で採択すべきも
のと決定した。
集団予防接種の注射
器の使いまわしが要因
とされており、本町に
おいてもその年代に該
当する町民に対し、検
査の必要性をPRすべ
きとの意見で一致。

本件は第2回定例会
で総務住民常任委員会
に付託され、審査終了
の報告があり、結果全
員一致で採択すべきも
のと決定した。

医療費助成は現在、
特別促進事業として実
施されているが、高額
な医療費は負担せざる
を得ない状況にある。

平成24年12月、ウイ

ルス感染患者の医療費
補助等の支援のあり方

については検討を進め
ると付帯決議されたが、
現在、具体的な措置が
講じられていない状況

であり、肝硬変、肝が
ん患者は毎年120人
以上の方が亡くなっ
ている。

医療費助成を含む生
活支援の実現は一刻の
余もない課題である。
①ウイルス性肝硬変・
肝がんに係る医療費助
成を創設すること。
②身体障害者福祉法上
の肝機能障害による身
体障害者手帳の認定基

準を緩和し、患者の実
態に応じた認定制度に
すること。
以上、地方自治法第
99条の規定により意見
書を提出する。

我が国においてウイ
ルス性肝炎、特にB型
・C型肝炎の患者が3
50万人以上とされる。

提出先

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣

**固定資産評価委員
遠藤伸浩氏 選任に同意**

任期は、
平成26年6月から3年間

**固定資産評価委員
向井 貢氏 選任に同意**

任期は、
平成26年6月から3年間

**農業委員会委員となるために
荒谷和江氏 推薦に同意**

任期は、
平成26年7月から3年間

政務活動費 平成25年度

美深町議会議員に
交付される政務活動
費は、議員一人当たり年額15万6千円。
個々の議員が政策
研究や立案のため使途基準に基づいて運用され、
決算時の残額は町に返納する。

平成25年度の政務活動費収支報告書では、11
議員合計の使用額は交付金の76%で、24%が返
納された。

使途の内訳は、総体で調査研究費が交付額の
69.5%。次に資料購入費で18.4%、研修費5.0%、
事務費3.2%が主なものとなった。

前年度と比較して使用額全体で1万8千円の
増、交付金使用額で1万7千円の減額であった。

| 議員名 | 交付額 | 使用額 | 返納額 |
|-------|-----------|-----------|---------|
| 小口 英治 | 156,000 | 167,876 | 0 |
| 藤守千代子 | 156,000 | 47,560 | 108,440 |
| 藤原 芳幸 | 156,000 | 140,335 | 15,665 |
| 南 和博 | 156,000 | 161,306 | 0 |
| 中野 勇治 | 156,000 | 19,196 | 136,804 |
| 山本 進 | 156,000 | 180,784 | 0 |
| 諸岡 勇 | 156,000 | 156,275 | 0 |
| 林 寿一 | 156,000 | 18,581 | 137,419 |
| 岩崎 泰好 | 156,000 | 210,506 | 0 |
| 齊藤 和信 | 156,000 | 153,456 | 2,544 |
| 倉兼 政彦 | 156,000 | 145,056 | 10,944 |
| 計11名 | 1,716,000 | 1,400,931 | 411,816 |

一般質問



藤原 芳幸 議員

1 安心して暮らせるまちづくり

問

緊急時の共通対応マニュアルは

答

整備する必要がある

質問 住民が安心して暮らせる環境づくりの中で、安心ホットカプセル、買物宅配など独自高齢者支援が事業化されてきた。

同時に安否確認の活動も始まっており、対象者にとってはたいへん心強い。

声掛けをする側は、緊急時に遭遇した場合にどう対応するのが良いのか、また、一報を受けた側も関係機関とどう連携していくのか。共通のマニュアルが必要ではないか。

様々な状況が想定されるが、基本的なマニュアルは整備する必要があると考えている。

質問 基本的マニュアルの整備後は、緊急事態を想定した各機関との連携訓練も必要ではないか。

町長 各機関の調整が必要になると思うが、良いことなので、実現できるよう努力したい。



町長 ホットカプセルは471世帯、宅配事業には53世帯の登録があり、一定の効果が上がっている。緊急時の場合として

質問 認知症支援の一つとして成年後見制度の取り組みが求められてきているが、現在の美深町はどういう状況か。

質問 認知症支援の一つとして成年後見制度の取り組みが求められてきているが、現在の美深町はどういう状況か。

問 成年後見制度、今後の状況は

答 制度の必要性は認識



町長 後見制度は状況によりいろいろな種類があり、難しい制度ではある。支援が必要な方もお

質問 需要の高まりから専門職の後見人不足が予想され、道内的一部の自治体では「一般市民後見人」を育成していく動きがあるが、美深町は今後どう取り組むのか。

質問 画期的な自治体活動や住民参加の町として、ソフト・ハード両面できめ細かく行政支援をしている。

町長 専門性が必要と考える。「一般市民後見人」を中心とした広域で育成していく必要もある。他の自治体の考え方も十分考慮していくかなければならない。

一般質問



1 農業政策、農産加工品の充実を図るべき所見を伺う

諸岡 勇 議員



今後の農地に政策を加えるという

問

経営安定など活力ある改革に

答

足腰が強く、多面的な機能を

質問 平成24年から農水省で開始の人・農地プランは、農地政策の基礎であるとし、その作成と定期的な見直しがなされた。

平成25年12月に新たな農業農地政策がはじまり、大きく四つの改革を中心に制度見直しの中、26年度のみ制度の対象の農家、また、新たな制度に選択せざるを得ない実情を伺う。

町長 水田フル活用とコメ政策の見直し、農地の中間管理機構の創設、経営所得安定対策の見直し、日本型直接支払い制度の創設の四改革が奨められる。

当町の課題では、耕作放棄地、平成22年度

次に農地の中間管理機構が設立されるが、その対応と取組みを考え。

質問 高齢者が5年先の就農計画をつくり認定農業者に成る事が難しい。

町長 町全体の農業として厳しい状況であるが、農業後継者対策で町長の考えは。

町長 畑作物の直接支払い交付金、ゲタ対策で81件63.7haで、認定農業者67件58.3ha、認定のない農業者については14件44ha。

22ha程が、8haに減少している。農業委員会と連携しながら優良農地の有効活用を図りたい。

担当手の育成対策、新規就農の受入についても農業関係機関一体で改革を進めたい。

農地の中間管理機構は、北海道において広域法人で農業公社が知事の指定を受け、この4月事業開始で現在準備中。



2 企業がチーズ作りへ

問

経営安定など活力ある改革に

答

乾燥・冷凍研究施設は農業商業連携で

できないか

質問 第6次産業として農業生産物の加工産業充実の考え、既に活性化資金の活用で特徴的な特産品も作成された。

町長 活性化資金での事業興しは、資金面で難しい。

雇用を含む産業に先駆けて行う応援はしたい。

ユリ焼酎、イチゴワイン、各種類の菓子、南瓜どぶろく、チーズ2企業創設などあるが、今後の考え方と野菜乾燥・食品冷凍施設の研究施設導入の考えは。

企業誘致、農業振興条例、担い手づくり・後継者づくりなど皆様と相談し研究施設などを努力したい。

一般質問



岩崎泰好議員

町長 日本全体の大きな課題として、国はじめ市町村がこの対策には。岩崎泰好議員は、美深町の女性人口減少問題について質問しました。

質問 役場の果たすべき役割という観点から考えると、行政改革という旗印の下に職員数はどんどん減らして効率的な運営をすることだが、

消滅する可能性のある自治体にも美深町の名前があり、大きく不安に思う住民が相当出たのではないか、対応は。

質問 美深町の20年0年の人口推計は2128名、20歳から39歳の女性人口は現状434人が148人まで減少。

質問 美深町の2004年0年の人口推計は2128名、20歳から39歳の女性人口は現状434人が148人まで減少。

質問 私たちの住む地方の存続は国の存続にもつながると思っており、國の基本的な政策を持つて、国と一緒に努力していく。

町長 町の行政組織をさらに小さくして人を減らしていく考え方を政としては持つていな。

適材適所で正職員をつけ、配置する必要性

があると思うが見解は。

長い将来に向かう方向にいく

だらうという認識にあ

り、また、是非ともそ

うあってほしいと願つ

ているが、単独では難

しい問題があり、やは

り国や道がしっかりと

戦略的に進めていく中

に、わが町がどうやって組み込んでもらうか、

組み込んでいくかだ。

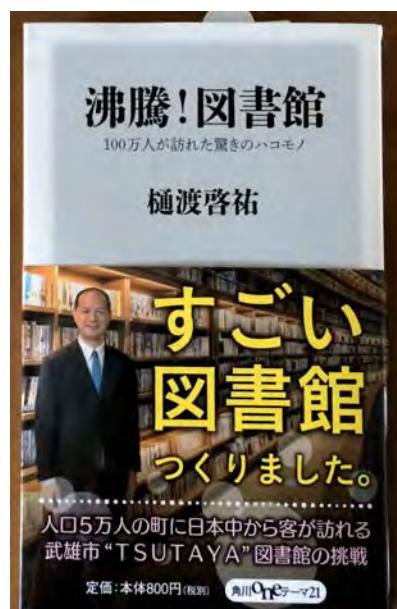
質問 里山資本主義という本が30万部のベストセラー、NHKも数度報道番組の中でこれらを取り上げ、これから地域のあり方について紹介し、全国の地域で話題なっている。一例では疲弊している木材産業の新たな振興に大きなヒントがあり、美深町の政策として木材産業振興のため取り組む形ができる

い。

答 方向性は認識、単独では難関産業振興策は



人口推計を報じる北海道新聞 5/9付



持続可能な地域のあり方を提言する書籍

レポート

大型公共施設 今後の修繕改修 計画

総務住民常任委員会



大型公共施設の今後の修繕改修計画について

平成26年5月9日

調査日

調査内容

大型公共施設の老朽化が懸念されることから今までの改修実績と現状、今後の修繕改修計画について現地調査と机上調査をした。

| | |
|---------|---------------------------------------|
| ●役場庁舎 | 昭和37年建設、57年 |
| ●保健センター | 昭和43年新築、平成10年コミュニティセンターとし改修、商工会が指定管理者 |
| ●SUN21 | 平成5年新築 |

| | |
|--------------|--------------------------|
| ●物産展示館(双子座館) | 平成4年新築、施設管理は(株)アウルが指定管理者 |
| ●恩根内センター・プラザ | 平成10年新築 |

調査のまとめ

本町の大型公共施設は、役場庁舎をはじめSUN21・びふか温泉など昭和や平成初期時代に建設された施設が多く、すでに20年を経過する建物も多くなって来ている。現在「第5次総合計画」に基づくインフラ整備と住民サービスに係る施設を優先して、既存の公共施設についてはいざれも大規模な改修工事は先送りして

きている。いずれの施設も、屋上防水工事の必要性が示されている程度で、早急な対策対応が求められる。これまでの「施設が壊れてから直す」という考え方から、「計画的に直す」という考え方には改め、施設の長寿命化と改修経費の節減、安全性を保つ考え方が必要である。

一般的に建物は30年を経過すると急激に老朽化が始まるといわれ

／＼間と知恵を絞って全道屈指の企業誘致条例制定と土地の整備事業などに心碎いた審議と議決で対応し、新たな雇用創出に期待した。

6月議会では、初日の全員協議会での説明に、議会は最終日に行政報告を追加して議事録に残る対応を求めた。

その行政報告では、町民への説明をする方法として広報に掲載することを引き出した。

7月号の紙面を読まれた町民の皆さんはどう感じられたか。

結果は結果として受け止めながらも、推進役の一方の旗振り役の説明責任がどうも曖昧模糊…

責任の取り方はいろいろ、しっかりとした説明があって、溜飲を下げる町民も多いのではないか。



ており、今まで以上に施設の維持管理経費が増加することが予想され、今後の改修改築、解体も含めた計画を早く策定すべきである。今回現地視察を行った中で、指定管理者の管理に課題がある施設が見受けられた。管理者の所在を明確にしたなかで、行政としてしっかりととした指導とチェックが必要である。

委員会

公営住宅の長寿命化計画



公営住宅の長寿命化
計画について

調査事項

平成26年5月20日

調査内容

公住4件、独身寮、
単身向け特公賃住宅を
現地調査と机上説明調
査をした。

産業教育常任委員会

地B・C棟6戸

その他、空き室状況、
公営住宅における問題
点、公住管理人状況、
敷金管理状況等を調査。

調査のまとめ

冬期間における除雪
については、各団地の
入居者から苦情はある
が、行政としては、福
祉の分野と、住宅団地
のスペースに考慮し実
施してきている。



新ひまわり団地を視察

4議員に自治功労表彰

全道町村議長会から永年にわたり議
会活動に寄与されたとし、倉兼・諸岡
議員（25年以上）齊藤・林議員（15年
以上）に対して自治功労者の表彰が6
月13日の定例会の折、議場で伝達され
た。



共同住宅周辺の環境
整備は、入居者の共同
作業が望ましいが、こ
れも年配者の作業となっ
ているきらいがある。
特にごみ処理方法に
ついては団地によつて
苦情があるので検討が
必要。



美深町各戸に配布さ
れた広報びふか7月号。
注目の記事はと目を
通したが発見できず、
もう一度最初から目を
凝らしてみると、まち
の話題の次のページに

お知らせのタイトルで『㈱アイサイエンス企業誘致
の終結について』との記事。

広報びふか平成23年8月号・24年5月号・同年9
月号・25年1月号の多くの紙面を飾り、町民の期待
を集めた企業誘致の結末は、なんとも、1ページの
4分の1にも満たないスペースでの終結宣言お知ら
せ記事。

議会も幾度と繰り返した委員会審議、多くの時



私たちのメッセージ



北星しんきん美深支店の深川朗です。
金融機関の立場から、いつも気がかりに思っていることをまとめてみました。

振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺は、北海道内で平成26年1月～4月まで、55件2億9千3百万円の被害

が発生しており、被害拡大に歯止めがかからない状況です。詐欺にもオレオレ詐

欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金詐欺と様々です。今までの振り込め詐欺は現金を振り込ませる手口がほとんどでしたが、最近では犯人が

現金やキャッシュカードを直接自宅等に取り出された時に「何にお使いですか」などの声を掛けられた方もいると思いますが、これも被害を未然に防止する一環として窓口担当者

に指示しているところです。不愉快な思いをされた方もおられるでしょうがお許しください。自分は大丈夫と過信しないで、家族や警察・金融機関に相談してください。

アピールしなきゃもったいないな

木幡かおる（第5自治会）

昨年4月に美深高校に教頭として着任いたしました。

長く住んでいる方は意識しないかもしれません、水道水のおいしい町です。

着任時に開いていただいた学校関係の歓迎会で「いぶきの会」の料理のおいしさに驚き、

白樺樹液春まつりでいただけの樹液で淹れたコーヒーや紅茶のほんのりとした甘さを楽しみました。

函岳ウォーキングの集いで、山の中腹で飲んだ「太陽の水」に感激し、山頂でいただけの豚汁は、是非また

美味しさでした。振り返ってみると、美深町は想像をはるかに下回る気温や予想外の降雪量など、自然の厳しさもありますが、美味しいものや素晴らしい環境に恵まれており、快適に過ごせる町です。

この素晴らしい美深

減らない「振込詐欺」被害

深川 あきら（第1自治会）

議会議員研修会へ

北海道町村議員研修会が7月4日札幌市で開催された。

研修では、「議会改革のこれから」と題して、法政大学法政学部教授 廣瀬克哉氏が講演。また、「これから日本の政治」と題して、読売新聞特別編集委員橋本五郎氏が、講演を行った。

